

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（土工）積算要領 】

| 改 正 後 | 現 行 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---------|--------------------|----|------------------------|--|--------|--------------------|---------|---------|---------|---|-------------|----|------|----|------------------------|--|--------|--------------------|--|--------|-------------------|--|
| <div>1. 適用範囲</div> <div>本資料は、以下に示す I C T による土工（以下、土工（ I C T ） ） に適用する。 以下の I C T 建設機械による施工の積算にあたっては、森林整備保全事業における施工パッケージ型積算基準により積算を行うこととする。 ・掘削（ I C T ） ・路体（築堤）盛土（ I C T ） ・路床盛土（ I C T ） ・法面整形（ I C T ） なお、土量が1,000m3未満の場合は、「森林整備保全事業 I C T 活用工事(土工1,000m3未満) 積算要領」などによるものとする。また、現場条件によって「2－1 機械経費」に示す I C T 建設機械の規格よりも小さい I C T 建設機械を用いる場合は、施工パッケージ型積算基準によらず、見積りを活用し積算することとする。</div> <div>2. 機械経費</div> <div>2－1 機械経費</div> <div>土工（ I C T ） の積算で使用する I C T 建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、「森林整備保全事業設計積算要領等の細部取り扱い」により算定するものとする。 ①掘削（ I C T ）、法面整形（ I C T ）</div> <table><tr><th>I C T 建設機械名</th><th>規格</th><th>機械経費</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="2">I C T バックホウ （クローラ型）</td><td>標準型・ I C T 施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制)山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t</td><td>賃料にて計上</td><td>ICT 建設機械経費加算額は別途計上</td></tr><tr><td>【 削 除 】</td><td>【 削 除 】</td><td>【 削 除 】</td></tr></table> <div>② 【省略】</div> <div>2－2～2－3 【 省 略 】</div> <div>3. 【 省 略 】</div> | I C T 建設機械名 | 規格 | 機械経費 | 備考 | I C T バックホウ （クローラ型） | 標準型・ I C T 施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制)山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t | 賃料にて計上 | ICT 建設機械経費加算額は別途計上 | 【 削 除 】 | 【 削 除 】 | 【 削 除 】 | <div>1. 適用範囲</div> <div>本資料は、以下に示す I C T による土工（以下、土工（ I C T ） ） に適用する。 【追記】積算にあたっては、【追記】施工パッケージ型積算基準により積算を行うこととする。 ・掘削（ I C T ） ・路体（築堤）盛土（ I C T ） ・路床盛土（ I C T ） ・法面整形（ I C T ） なお、土量が1,000m3未満の場合は、「森林整備保全事業 I C T 活用工事(土工1,000m3未満) 積算要領」などによるものとする。また、現場条件によって「2－1 機械経費」に示す I C T 建設機械の規格よりも小さい I C T 建設機械を用いる場合は、施工パッケージ型積算基準によらず、見積りを活用し積算することとする。</div> <div>2. 機械経費</div> <div>2－1 機械経費</div> <div>土工（ I C T ） の積算で使用する I C T 建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、「森林整備保全事業設計積算要領等の細部取り扱い」により算定するものとする。 ①掘削（ I C T ）、法面整形（ I C T ）</div> <table><tr><th>I C T 建設機械名</th><th>規格</th><th>機械経費</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="2">I C T バックホウ （クローラ型）</td><td>標準型・ I C T 施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制)山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t</td><td>賃料にて計上</td><td>ICT 建設機械経費加算額は別途計上</td></tr><tr><td>標準型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積1.3～1.5m3（平積1.0～1.2m3）</td><td>損料にて計上</td><td>ICT建設機械経費加算額は別途計上</td></tr></table> <div>② 【省略】</div> <div>2－2～2－3 【 省 略 】</div> <div>3. 【 省 略 】</div> | I C T 建設機械名 | 規格 | 機械経費 | 備考 | I C T バックホウ （クローラ型） | 標準型・ I C T 施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制)山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t | 賃料にて計上 | ICT 建設機械経費加算額は別途計上 | 標準型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積1.3～1.5m3（平積1.0～1.2m3） | 損料にて計上 | ICT建設機械経費加算額は別途計上 | |
| I C T 建設機械名 | 規格 | 機械経費 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| I C T バックホウ （クローラ型） | 標準型・ I C T 施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制)山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t | 賃料にて計上 | ICT 建設機械経費加算額は別途計上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 【 削 除 】 | 【 削 除 】 | 【 削 除 】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| I C T 建設機械名 | 規格 | 機械経費 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| I C T バックホウ （クローラ型） | 標準型・ I C T 施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014 年規制)山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t | 賃料にて計上 | ICT 建設機械経費加算額は別途計上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 標準型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積1.3～1.5m3（平積1.0～1.2m3） | 損料にて計上 | ICT建設機械経費加算額は別途計上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（土工）積算要領 】

| 改 正 後 | 現 行 | 備 考 |
|--|--|-----------------|
| <p>4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用</p> <p><u>（1）</u> 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。</p> <p>・共通仮設費率補正係数 ： 1.2</p> <p>・現場管理費率補正係数 ： 1.1</p> <p>※小数点第3位四捨五入2位止め</p> <p><u>上記費用の対象</u>となる出来形管理は、以下の1）～5）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とし、I C T活用工事（土工）実施要領に示<u>すその他の</u>出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる<u>ため、別途計上は行わない</u>。</p> <p>1）～5） 【 省 略 】</p> <p><u>（2）費用計上に当たっての留意事項</u></p> <p><u>1）3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が、（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。</u></p> <p><u>2）受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</u></p> <p>5. ～6. 【 省 略 】</p> <p>掘削（I C T）における積算</p> <p>【 省 略 】</p> | <p>4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用</p> <p>3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。</p> <p>・共通仮設費率補正係数 ： 1.2</p> <p>・現場管理費率補正係数 ： 1.1</p> <p>※小数点第3位四捨五入2位止め</p> <p><u>なお、土工（I C T）において、経費の計上が適用</u>となる出来形管理は、以下の1）～5）又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とし、それ以外の、I C T活用工事（土工）実施要領に示<u>された、</u>出来形管理の経費は、<u>補正係数を乗じない</u>共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。</p> <p>1）～5） 【 省 略 】</p> <p><u>【 新 設 】</u></p> <p>5. ～6. 【 省 略 】</p> <p>掘削（I C T）における積算</p> <p>【 省 略 】</p> | <p>別添（参考資料）</p> |